

マネジメント学部 観光マネジメント学科

「観光」と「ホスピタリティ」について、政策、経営、文化の側面から学ぶ

3つの履修モデルを参考に、インターンシップやフィールドワークを通して、将来の進路に必要な専門知識や能力を実践的に身につけます。

アカデミック・インターンシップで学生全員が就業体験
2年次の夏季休暇中に、全員がインターンシップに参加し、観光にかかわる多彩な職場での就業体験をします。

教授陣は幅広い観光分野で活躍する研究者と実務家
観光経営や観光経済、文化遺産など各学問分野の研究者、行政や企業で観光に関する実務経験を持つ専門家など、多彩な経歴を誇る教員もたもてて学べます。

多彩な進路を実現する3つの履修モデル

観光振興マネジメントコース	国や自治体の観光開発、リゾート開発や不動産、観光振興、観光案内・宣伝広報分野で活かせるマネジメント能力を身につける。
観光経営マネジメントコース	国内外の旅行産業、交通産業、宿泊産業で活かせるマネジメント能力を身につける。
観光文化マネジメントコース	異文化交流、地域文化資源開発、歴史遺産探訪、観光まちづくり分野で活かせるマネジメント能力を身につける。

問い合わせ先
(新座キャンパス) 〒352-8501 埼玉県新座市中野 1-9-6
(文京キャンパス) 〒112-8687 東京都文京区大塚 1-5-2
TEL.048-478-3338 (入試課)
E-mail:n-yushi@mmc.atomi.ac.jp URL: http://www.atomi.ac.jp/daijaku/

跡見学園女子大学

跡見学園女子大学は、企業と連携して本物のビジネスを体験するリアルビジネス型の実践教育

★RB教育とは…企業と連携して本物のビジネスを体験するリアルビジネス型の実践教育

「RB教育」共栄大学にしかない学び

共栄大学会計アカデミー
●公認会計士(短答式)合格 ●税理士科目合格 3年連続
●早稲田、明治、法政、青学など、各大学院合格

共栄ワールドラン
近畿日本ツーリストとコラボレーション
海外ツアー・結婚式を学生がプロデュース!!

共栄スポラス
大宮アルディージャとコラボレーション
J1公式戦イベントを学生がプロデュース!!

キャンパス見学会 2010 10:00-12:30
7/10 7/24 8/7 8/20 8/27

共栄大学

目標を見据えた 充実の4コース制

- ビジネスキャリアコース
- 会計ファイナンスコース
- 観光ビジネスコース
- スポーツマネジメントコース

入試についてのお問い合わせは TEL.048-755-2490 http://www.kyoai.ac.jp/

人文学部 観光文化学科

2010年4月新設

「観光デザイン力」とそれを支える「社会人基礎力」の二つをキーワードに、多様で個性的な観光の創造に向けた教育を推進。

学びのポイント

- 観光デザイン力を養成するフィールドワークなどの実習科目。
- 「伝統文化副専攻」、「英語副専攻」、「中国語副専攻」、「韓国語副専攻」など多彩な副専攻制度
- 「社会調査士」の資格が取得できる観光リサーチ科目群
- 国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策特別講座

Open Campus
7月18日(日) 8月1日(日)
8月22日(日) 9月1日(日)

八千代キャンパス
〇大学 人文学部 日本伝統文化学科 国際言語文化学科 観光文化学科 (2010年4月開設)
応用心理学部 福祉心理学部 臨床心理学部 健康・スポーツ心理学部
〒276-0013 千葉県八千代市保原2014 TEL.047-488-1000

「観光」を学べる

観光をマネジメント 跡見学園女子大学

成長産業として観光の「こ」と他大学の違いを認識が高まるなか、観光学科を設ける大学が増え、観光分野の知識を専門的に習得する人材が数多く輩出されるため、観光にかかわる観光関連企業など、企業と学校とが意見を交わす場では時に、企業が求める人材像には物足りないとも指摘される。マネジメント能力が備わっていないというのだ。

跡見学園女子大学が今年4月、マネジメント学部「観光マネジメント学」を開設した。同学年初となる観光系学科学科として、観光をマネジメントする学科学科「観光」を開設した。観光をマネジメントする学科学科「観光」を開設した。観光をマネジメントする学科学科「観光」を開設した。

企業と提携し現場体験 共栄大学

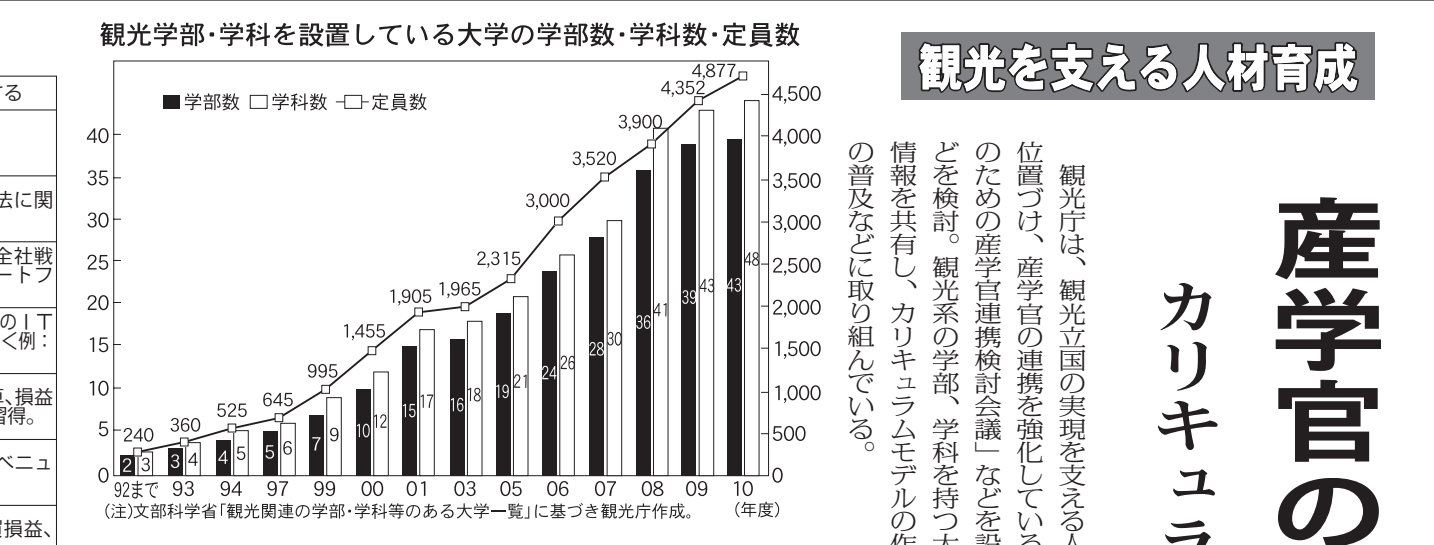
共栄大学(埼玉県春日部市)山田和利学長は「観光」を開設した。観光をマネジメントする学科学科「観光」を開設した。観光をマネジメントする学科学科「観光」を開設した。

山田学長は「観光」を開設した。観光をマネジメントする学科学科「観光」を開設した。観光をマネジメントする学科学科「観光」を開設した。

「観光デザイン力」習得 東京成徳大学

東京成徳大学は今年4月、観光学科を開設した。観光をマネジメントする学科学科「観光」を開設した。観光をマネジメントする学科学科「観光」を開設した。

山田学長は「観光」を開設した。観光をマネジメントする学科学科「観光」を開設した。観光をマネジメントする学科学科「観光」を開設した。



産学官の連携強化 カリキュラムモデルも作成

観光を支援する人材育成

観光は、観光立国の実現を支える人材育成を最重要課題に位置づけ、産学官の連携を強化している。観光関係人材育成のための産学官連携協議会などを設置し、連携のあり方を検討し、観光系の学部、学科を持つ大学と、産業界、行政が情報共有し、カリキュラムモデルの作成やインターンシップの普及などに取り組んでいる。

カリキュラムモデルの作成では、観光企業などの経営者や産学官を担う人材の育成をテーマとしてきた。大学にはそれぞれ人文・社会科学、地域振興、ホスピタリティなどの卒業生が観光産業に就職する割合の低さ、大学が輩出する人材と産業界が求める人材とのギャップが課題として浮き彫りされた。産学官連携協議会の作業部会では、既存のカリキュラムや欧米のカリキュラムなどを検討し、

改定を重ねながら、今年2月に独自の「カリキュラムモデル」を作成した(別表)。経営戦略や財務、情報技術などの科目を重視したのが特徴だ。今後は、個々の大学でこのカリキュラムモデルを生かした講座の実践方法を、講師の確保など大学の連携手法を検討する。また、カリキュラムモデルの社会人教育の活用も検討している。

今年度のモデル事業では、7～9月にかけて13大学の学生43人がホテルや旅行会社、テーマパークなど16社でインターンシップを行った。今年度も学生を受け入れ、産学官の連携を進めたいという見込みだ。産学官連携協議会の作業部会では、産学官の連携について協議した。

観光経営マネジメント人材育成のためのカリキュラムモデル

分野	能力	1年次・2年次=各分野の基礎を学ぶ			3年次・4年次=専門的、業界別の知識・スキルを習得する		
		科目番号	科目名	科目概要	科目番号	科目名	科目概要
経営戦略	企業経営を理解し、戦略立案ができる	1	経営学概論	経営学的基础と、環境分析や競争戦略など、意思決定を行う際に必要となる概念・手法の理解。	13	サービスマネジメント	ホスピタリティ産業の組織設計、運営手法に関する理解。
		2	経営戦略概論	企業の競争優位を維持し、企業を成長・存続させるためのグローバルな視点での経営戦略の意義と基本的な理念の理解。	14	ホスピタリティ産業の経営概論	ホスピタリティ産業に関する経営戦略・全社戦略・事業戦略の策定のプロセスや事業ポートフォリオなどに関する理解。
IT	ITスキルを修得し、業務管理のためにITを活用できる	3	IT概論	情報技術(IT)の基礎(ITコンセプト、機器選択の課題・標準化・効果・セキュリティ等)の理解。	15	ホスピタリティ産業のIT	ホスピタリティ業界のIT(消費者のためのIT<EC>、予約システム、経営管理のためのIT<CRM>、会計、財務システム等)に関する理解。
		4	会計概論	会計の基礎(簿記・財務諸表と貸借対照表、損益分岐点分析、キャッシュフロー計算書、国際会計基準等)の理解。	16	管理会計	管理会計に必要な知識とスキル(原価計算、損益分岐点分析、ユニフォームシステム等)の習得。
財務	金融・財務についての知識を習得する	5	財務概論	財務の基礎(資金調達・資本政策、企業価値、財務分析、コーポレートファイナンス等)の理解。	17	収益管理	収益予測管理、イールドマネジメント、レベニューマネジメントの理解。
		6	マーケティング概論	マーケティングの基礎(製品、流通、価格、販促・広告、戦略等)の理解。	18	企業税務	税務会計の基本構造、課税所得計算、売買損益、損益分岐点分析、固定資産会計等の理解。
人事・組織	戦略実現のための組織構築と人事管理について理解する	7	組織行動論	組織文化、組織設計、制度設計、モチベーション、リーダーシップ、コミュニケーション等、組織及び個人行動に対する理解。	19	ホスピタリティ産業の財務管理	ホスピタリティ産業(主にホテル・料飲)で特徴的な財務管理に関する理解。
		8	観光関連法規	ホスピタリティ産業関係の法律(観光立国推進基本法、通関案内法、国際観光ホテル整備法、旅行業法、観光地整備法)に関する理解。	20	サービス・マーケティング	サービスの特性(無形性、不可分性、消費性、変動性)を踏まえたマーケティングに関する理解。
ビジネススキル	ビジネスに必要な基礎スキル・知識を習得する	9	コミュニケーション基礎	オーラル・文書(社内・社外文書)などによるコミュニケーションに関する基礎的な理解。	21	マーケティング調査	マーケティング調査(定量的調査、調査設計・結果分析)の手法の理解。
		10	統計・定量分析手法	データ収集方法、データの品質評価、推計、仮説検定、多変量解析等、基礎的な統計学とTSA等の理解。	22	ブランド論	ブランド価値の創出・維持・コミュニケーションなどに関する理解。
産業論	観光産業の各業界の特徴や潮流などを理解する	11	経済学	マクロ経済・ミクロ経済の基礎的理解。	23	ホスピタリティ産業の人事管理	ホスピタリティ産業に特徴的な人事管理、組織づくりに関する理解。
		12	ホスピタリティ産業(入門)	ホスピタリティ産業全般に関する理解。	24	リーダーシップ論	管理職として求められるリーダーシップ(リーダーシップの重要性、リーダーシップ技術等)に関する理解。
専門教養	観光に関する基本的な概念や、観光産業に携わるものとしての文化的・語学的知識を習得する	31	観光地論	観光地域の形成、観光地の社会学、日本固有の風土論、地域振興、観光地の経済、交流産業等に関する理解。	25	法律概論	民法、商法・会社法・金商法、不動産関連法等、経済活動に必要な法律の理解とリーガルマインドの醸成。
		32	日本文化論・歴史論	日本固有の文化(茶道・華道・能楽・歌舞伎等)・歴史の理解。	26	ロジカル・シンキング	管理職・経営者にとって重要な概念理解能力・分析能力の習得。
		33	英語(語学)	国際的な業務で活躍し得るビジネススキルとしての語学の習得。	27	リスクマネジメント	危機管理、CSRの観点から踏まえた社内統制・広報・宣伝戦略に関する理解。
					28	宿泊産業論	ホテル開発における事業計画(フィージビリティスタディ、資産価値評価、更新投資等)、運営管理(資産・施設管理、活用等)に関する理解。
					29	旅行産業論	旅行業界の概要と、旅行会社の運営メカニズム(組旅行・パッケージツアー・マーケティング、ビジネス領域の拡大等)に関する理解。
					30	MICE	商品開発、マーケティング、スタッフの採用・育成、効果測定等、MICE(国際会議、コンベンション等)の運営・管理に関する理解。

※科目番号: 1~14=必修科目、15~30=選択科目、31~33=一般教養とのバランスを考慮すべき科目